

「子どもたちの笑顔溢れる学校をめざして」

あけましておめでとうございます。いつもご支援いただき本当にありがとうございます。

去年は、能登半島地震から始まり、災害の多い一年でした。各地の災害に心を痛められた方の多いのではないのでしょうか。防災対策、また被災地の復興等、国がやらねばならない事ははっきりと見えてきた一年だったと思います。被災された皆様の心に寄り添い、迅速に対応できるそんな制度が国として必要です。

また、今年の通常国会では、「給特法の見直し」がなされます。今の時点（12月中旬）の状況では、文科省案と財務省案が出ており、どんな改正になるのか目が離せない状態です。しかし、どちらの案も業務削減、定数改善、カリキュラムの見直し等にはふれられておらず、全面的に賛成する訳にはいきません。教職調整額や様々な手当の増額のみで終わることにならないよう、そして本当の意味での「働き方改革」となるよう、日政連議員で連携しながら、国会で論議してまいります。

今国会から私は総務委員会の所属となりました。今までと違う分野で、初めは戸惑いもありましたが、党の部門会議などで学びながら皆さんのためにやれることが沢山あることがわかり、「何を質疑しようかな～」とワクワクするようになりました。昨年末の臨時国会では、「地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正案」も提出されました。これからも「会計年度任用職員制度」「公務員制度改革」等に関わり、皆さんの働きやすい環境、処遇改善に向けてとりにくんでいく所存です。

子どもたちが安心して学べ、遊べる、居場所のある学校をめざして、そして子どもたちを温かく見守ることができる教職員の働き方をめざして、今年も尽力します。共に頑張りましょう。



参議院議員 古賀千景